

## 物流領域のデジタルサービスプロバイダー18社が8月に「物流DX会議」を開催

各物流システム間の共通インターフェース構築によって  
物流の社会最適を目指すプラットフォームの形成を目指す

自動倉庫事業を手がける、株式会社 APT（以下 APT、本社：千葉県千葉市、代表取締役：井上良太）は、8月23日（金）の10時より、物流デジタルサービスプロバイダー18社による共催セミナー「物流DX会議」を開催します。

物流DXは協調領域を明らかにすることからはじまる——

# 第2回 物流DX会議

## 8つの連携、物流ITベンダーの本気。

物流DX会議は前回開催から1年を経て参画企業が3倍に拡大しました。物流の2024年問題に直面するこの1年の間、物流の行く末に危機感を募らせる参画企業同士が連携を模索。自然発生的に生まれた、8つの物流向け連携事例をお知らせできることになりました。

進化する物流DXを  
目撃せよ。

# 8/23

午前10時配信開始

行先は、一人ひとりの笑顔。  
AIO! スマイルゴードコネクト  
KURANDO ROMS Robotics Q/Mn Solutions  
YE DIGITAL C.Net  
KANTSU STRASOL Architects  
APT +Automation We are game changer  
ロジザード株式会社 Geek+  
ハコベル monoful  
CAMCOM GROUP LYNA  
safie FURUNO

2023年8月24日に実施した「物流DX会議」の第2回であり、物流2024年問題の解決のため6社が手を取った前回から1年、参加企業数は3倍の規模に拡大し、特別ゲストも迎えて更に白熱した議論をお届けする予定です。

### ■物流DX会議を開催する背景と概要

荷主（発荷主・着荷主）と物流事業者（3PL、倉庫会社、運送事業者）が連携してモノを運ぶ物流業界では、限られた物流リソース（車・倉庫・人）を社会全体で最大活用することが肝要です。しかし、各工程で個別のデジタルサービスが複数存在し、上流と下流の情報伝達をアナログに頼ることもまだ多い現状においては、最大活用のための連携も限定的であるのが実態です。

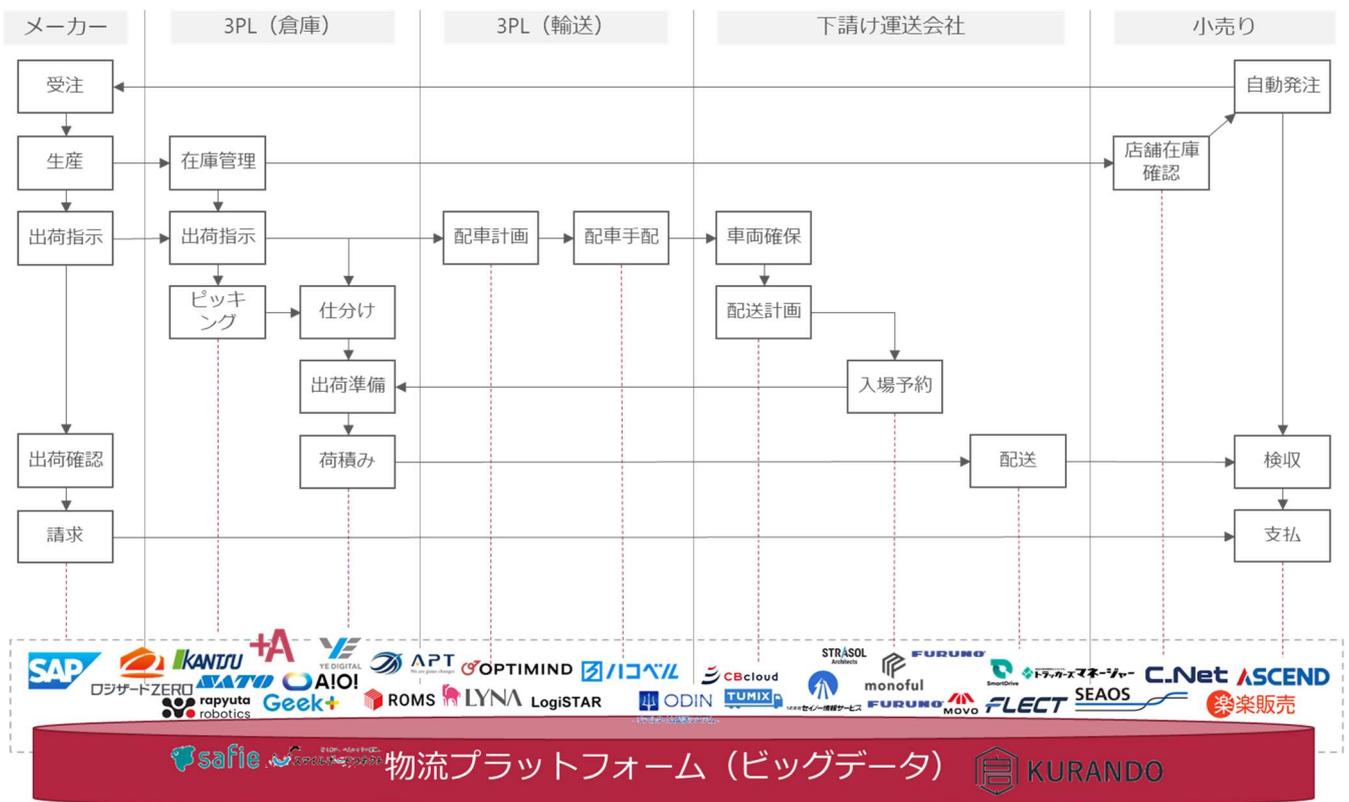
2024年4月から3か月が経過し、人手不足をはじめとする様々な課題解決のための対策も待ったなしの状況の中、各デジタルサービス同士の競争やユーザー側のシステム選択の自由を担保しながら、各工程のシス

テムが“つながる”ための取り組みが必要とされています。

前回はその取り組みの第一歩として、現状の個別最適（※個社単一拠点・単一工程のデジタル化）の限界と、各システムがつながった未来のビジョンを語る、という“総論”がパネルディスカッションで語られました。今回は“各論”として、複数のシステム間で実際に連携した事例を、ユーザー企業の声とともにお届けします。前回に続き、LOGISTICS TODAYの赤澤編集長がメインモデレータを務めます。

今後ますます佳境に入ってゆく物流危機への対策として、デジタル化は避けられないことは明白です。更に物流領域の根本課題を解決するには、デジタルサービスの提供者側が「協調領域」としてシステム間の連携を担保し、誰でも社会の物流リソースにアクセス可能なプラットフォームを形成することが不可欠です。そのためには、より多くのデジタルサービスプロバイダーやユーザー企業（荷主企業・物流事業者）、官公庁や業界団体などの参画が必要です。

是非このイベントをご視聴いただき、次回以降のご参画をご検討いただければ幸いです。



### 【イベント概要】

- 開催日時：2024年8月23日（金）10時～17時30分
- 形式：オンライン（Youtube 配信）
- 参加費：無料
- 定員：800人（事前申込必須）
- 申込期限：2024年8月22日（木）17時（※アーカイブ視聴も事前申込必須）
- 申込ページ：<https://www.logi-today.com/635873>

## 【APT 登壇セミナー】

- 開催日時：2024年8月23日（金）10:45～11:15
- タイトル：次世代物流センターの構想と実現：現場にフィットする WMS×マテハン設備の最適解
- 登壇者：株式会社ストラソルアーキテクト 代表取締役社長 秋川 健次郎  
株式会社 APT ソリューション営業本部第一営業部 部長 栗原 勇人

### ■概要

このセミナーでは、数々の物流センターデザインを手がけるストラソルアーキテクトと、メーカーレスで様々なマテハン器機連携を得意とする APT が共同で提案する物流業務改革事例をご紹介します。物流センターの改革には一つとして同じ「最適解」は存在しません。このセミナーでは、物流センター改革の方法、WMS とマテハンとの連携のあり方について詳しく解説します。特に、最低限の設備投資で最大の省人化と効率化を達成した物流センターの構築事例や、WMS×WCS を APT 化し複数のマテハンとシームレスに連携した事例についてご紹介します。

皆様のご参加をお待ちしております。ぜひ、ご視聴ください。

### 【株式会社 APT 会社概要】

会社名：株式会社 APT

設立：2009年8月（創業：1984年10月）

代表者：井上良太

URL：<https://n-apt.com/>

所在地：〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬 1 丁目 3 幕張テクノガーデン B 棟 22 階

事業内容：機械器具設置工事業

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 APT

担当：栗原

tel：043-350-0581 / mail：[kurihara@n-apt.co.jp](mailto:kurihara@n-apt.co.jp)